

職人の技を受け継ぎ歴史・文化を継承する

職大だより

公益社団法人 金沢職人大学校

巻頭言

<山出保元金沢市長と金沢職人大学校>

山出保元金沢市長が去る7月14日に93歳で逝去されました。金沢職人大学校を代表してここに謹んで哀悼の意を表します。

金沢職人大学校の創立は1996（平成8）年秋ですが、創立にあたっては、当時の市長山出保氏の強い思いが背景としてありました。

山出保元市長は、1931（昭和6）年金沢市に生まれ、金沢大学法学部を卒業後、金沢市役所に入職、財務部長、助役を歴任、1990（平成2）年に市長に初当選されました。以来、金沢市長在任期間は2010（平成22）年まで5期20年間の長きにわたり、様々な施策を通じて金沢市市政を牽引されました。その間、全国市長会会長も歴任（2003（平成15）年-2007（同19）年）され、国政に対する地方自治、とくに地方行政の独自性のあり方を鋭く問うてこられました。また、行政マンとしての経験を踏まえ、市長として、当時の金沢の置かれた状況を鋭く分析し、「一週遅れのトップランナー」であることを認識し、戦後の日本の都市が陥った個性の喪失と画一化のアンチテーゼとして、ナンバーワンよりもオンリーワンを目指す金沢の魅力づくりに尽力されました。

とくに歴史的まちづくりについては、旧城下町地区を黒釉薬瓦の木造住宅や金澤町家などによる「保全区域」とし、それを貫く都心軸による「開発区域」との両立を目指したまちづくりを力強く推進されました。幸いにも戦災や自然等の大きな災害に遭わずにきた金沢市は「歴史に責任を持つ街」であるとし、「こまちなみ保存」や「旧町名復活」などの施策を展開され、「重要伝統的建造物群保存地区」に東山ひがし地区（2001（平成13）年）をはじめ4地区の選定を受け（文化庁）、2009（平成21）年の「歴史都市」認定第一号につなげました（国土交通省、文部科学省、農林水産省）。

市長就任のしばらく後に赴いた神社の竣工式において、金沢の宮大工等の職人技の継承が厳しい状況にあることを知り、職人を育てる学校の設立を決意します。父親も大工であった山出氏は、職人は寡黙、一途であるとし、その「職人気質」を心から愛し、金沢の伝統や文化をつくり、かつ



自著にサインする山出保元市長
2022年11月、金沢職人大学校にて

支える最先端の存在であるとしました。歴史を纏って生き続けるまちを支える職人の手技の存在を最も重視したのです。同じく職人の技や文化を大切にした永六輔の言葉をかりて「職人は生き方」であり、「金沢職人大学校は文化の危機管理である」と語られています。

金沢職人大学校は、山出元市長の熱い思いや深い見識を背景に創立されました。職大の関係者へは、様々な折に多くの励ましと示唆に富む提言をいただきました。旧城下町の歴史を支え、いまも受け継がれる職人の技と文化に磨きを掛け、さらに大きな目標に向かって、活動を発展させてまいりたいと存じます。

最後に2022（令和4）年11月に職大修復専攻科第8期生への講義の「むすび」の一部をご紹介して、締めくくりとします。「…（前略）今日のような方々に対して「頑張って欲しい」、この一言は最後まで言い続けたいと思います。金沢は非戦災のまちです。だから、いろんなものを残してきた。将来の可能性はたくさんあります。よそのまちと比べたら、はるかに可能性を秘めています。だから、こんな幸せなまちはないと思います。それを活かせるか活かせないかは、住んでいる人の甲斐性だというふうに思います（後略）…」。（坂本英之）



左官科

左官科実習室に保管されている講師の教材サンプル
**鎧にみる
左官職人の技！**



▲めったに作例のない技法

下層全体に青色の土を塗り、そこに模様の型紙をおき、模様に合わせて深さ3ミリほど鎧で土を削る。型紙を抜いて、全体に茶色の土を上塗りする。水分が乾いたら、全体を薄く削ると、青と茶の色模様が均一に浮かび上がってくる。



◆大量に同じものを複製する技法
型にシリコンを流して型取り、焼き石膏を流して作る。赤色の下地は聚楽土。



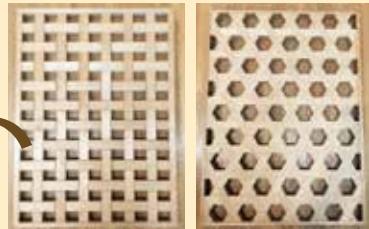
▲型抜きの技法

下絵通りに型紙を作って、土を型抜きして、さらに土を盛り上げて描いた鎧絵。

◆用途ごとに使い分けられる鎧は、搬送の衝撃から鎧先を保護するため、カバーを付ける。これにより数十年使える。

(左官科講師 平野甚九郎さん・川端幸則さんに取材)

1 期生実習作品



▲千鳥格子：縦横の
桟が交互に表裏に
である。



建具科

建具科に保管されている
実習作品

**先輩研修生たちの
努力の結晶！**

9

期生修了製作
両面舞良戸(まいらど)



サイズ 縦 1800 mm×横 2400 mm
重さ 40 kg(1枚)
板材 米国産クサマキ
引き手 飾り金具

2 期生実習作品
伝統的な組手

一重菱組手▶



二重菱組手▶



二重菱
切り落とし
組手▶



▲3種の菱組

3年間の実習期間に作られた、先輩研修生たちの作品がところ狭しと壁に立てかけられ、新しい研修生たちを待っている。

(建具科講師 中居克彦さん・遠藤外数さん・平井靖洋さんに取材)



本科教養講座
2025
本科研修生の教養を広げる
目的で、年に数回実施



令和7年6月14日(土)

「金澤町家を引き継ぐために」

むとう設計

武藤 清秀 氏 Kiyohide MUTOH

当校の修復専攻科一期修了生であり、町家建築に造詣の深い武藤清秀氏をお招きして、金澤町家の保存・修復の事例や活用の工夫、木造建築の耐震強度についてシミュレーション映像を見ながらお話を伺いました。

令和7年8月23日(土)

「災害の時代における持続可能な木造建築

板倉構法による仮設住宅と復興公営住宅の建設」

筑波大学名誉教授 里山建築研究所主宰

安藤 邦廣 先生 Kunihiro ANDOH

長年、倉を調査してきた研究成果をもとに、日本の気候風土にあった住宅建築は板倉構法が最適であること、植林⇒間伐⇒製材⇒大工技術を連環させて、100年もつ木造住宅造りをめざして活動されておられることを伺いました。

①石工科

石垣の隅石の加工実演と体験
模型を使って石積加工体験

②瓦科

漆喰で接着、銅線で固定して、和瓦の棟積み実演と体験

③左官科

竹小舞に鎧で中塗土を塗る体験
ボードに鎧で漆喰珪藻土を塗る体験

④造園科

黒松の加賀流剪定実演と体験
雪吊りの実演
男結びの体験

⑤大工科

台鉋と槍鉋の削り体験
好みの形に材料を切って、柿渋の塗料を塗り、透明の自然塗料でツヤ出しをして花作り

匠の技を見てみよう
やってみよう つくってみよう
市民公開講座 2025 9月23日(火・祝)
職人の技術や文化を市民に広く知って
いただく目的で、年に1回開催

⑥建具科

材料を加工、組み立て、
ミニ障子枠作り
鉋削りの体験

⑦畳科

畳の材料、効用、文化のお話
上敷き針に麻糸を通し、畳表に紋縁を縫い付けて、ミニ上敷き作り

⑧板金科

鍛金加工を解説
オリジナルの銅製ペンダント
トップ作り

⑨表具科

掛軸の裏打ちの仕組みの
解説と実演
障子の張り替え体験



②



③



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨





職大講師を紹介します

さだ しゅうぞう

大工科 佐田 秀造 講師

「現代の名工」厚生労働省 2016年
金沢城復元工事 第三期 総棟梁



大工になったわけは…

親が大工でもないのに、小学4年の時には「おれは大工になる」と言っていたらしい。それほど、子どもの頃から、大工になれと刷り込まれていた。父親は古くなった自宅を息子に建てさせれば安く上がると思って、長年かけて建て替え用の木材を用意していた。叔父が大工をしていて、高校卒業後は叔父のところで修業した。当時は、一斉に茅葺き屋根から瓦屋根に替えようという時期で、近所の家がどんどん建て替えていく中、ずっと辛抱して、最後の最後に建て替えた。こんな立派な贅沢な材料を使っていいのかって聞くと、いいんだ、いいんだと言って、ふんだんに使わせてくれた。両手で抱えられないような大きな丸太を木取りして、製材所に運んだときのことを思い出すな。



大工の道具…

長い柄が付いている道具は、材料を深く彫るため。手先で彫るのではなくて、柄を肩にあてて、梃子の原理で動かすのがいい。今の研修ではあまり使う場面はないが、大工を続けていれば、いずれ彼ら(研修生)にも必要になってくる。ノミの木製カバーは自分で作った。一見、1枚の木を割り貫いたように見えるが、実は2枚の板を貼り合わせている。継ぎ目に斜めに鉤を掛けることで、継ぎ目が見えなくなる。これも大工の技！

昔は口論もすれば、弟子も叱ってきた。今は我ながらずいぶん優しくなったな。補助をしてくれている講師も、次期には育って、後をやってくれると思う。



【編集後記】

ロシア・ウクライナ戦争をはじめ、近年、世界の様々な国や地域で紛争が発生しています。それらの地域と離れた日本においても、輸入する原材料の高騰により物価高となり、国民生活に大きな影響を及ぼしています。世界平和や安心な暮らしを取りもどすには、紛争当事国のみならず、世界各国のリーダーの手腕が問われることになります。

リーダーは、将来のビジョンを示し、そのための変革を促すことで国民の意識ややる気を向上させるリーダーシップのもと、そのビジョンの実現に向け、目標を掲げ、様々な手段を尽くして達成に導いていくマネジメント力が備わってなければなりません。

ところで世界各国のリーダーは、その資質が備わっている人ばかりでしょうか？また、そういった行動をとれる人でしょうか？

求められるリーダーは、国に限った話ではなく、最近各地で騒動になっている県や市などの地方自治体のリーダーもしかし、様々な組織のリーダーに当てはまることがあります。

私たちは社会生活を営む以上、様々な組織に属することとなります。リーダーを選ぶときやリーダーの活動を理解する際には、そういった視点も必要ではないかと思います。

ただ今は、我が国をはじめとした各国のリーダーの行動に目が離せないことは間違いないようです。(H.T)

金沢職人大学校で高度な伝統技術を習得した職人たちが
古い建物などの修理に関する相談を承ります！

あなたの
「出
入り
職
人」
見
つ
か
り
ま
す



○ 修理項目から探す

○ 修理項目から探す

○ キーワードで探す



【発行・連絡問い合わせ先】

公益社団法人 金沢職人大学校

住 所：石川県金沢市大和町1番1号

* 金沢市民芸術村の一角にあります。

電 話：076-265-8311 ファックス：076-225-8314

Webサイト：<https://www.k-syokudai.jp/>

事務局：平日9:00-17:00/土日・祝休み

